

こちら

議会広報部

2006
第5号

発行 / 周防大島町議会
〒742-2192
周防大島町大字小松126-2
TEL: 0820-74-1003(議会事務局)
編集 / 議会広報編集特別委員会
印刷 / (有)日良居タイムス

今回の主な内容

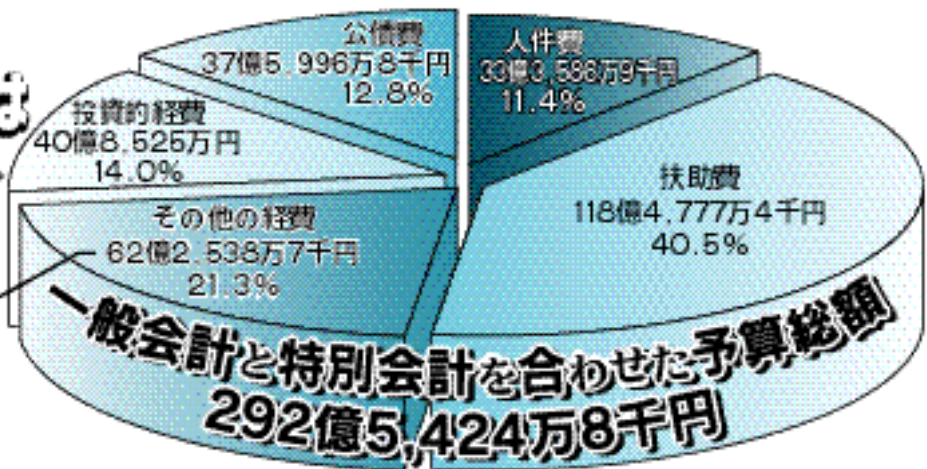
3月定例会 1~2P
委員会報告 2~3P
一般質問 7名 4~7P



橘ウィンドパーク

平成18年度
予算総額(支出)は
こうなります

(内訳)
物件費 22億5,855万7千円
維持補修費 2,645万6千円
補助費等 9億6,461万円
繰出金 29億124万1千円
その他 7,452万3千円



平成18年度の周防大島町の予算総額は一般会計と特別会計を合わせて292億5,424万8千円です。

その予算を一般会計と同じように仮定して性質別に区分してみました。

議会議員の報酬や町職員の給料などの人件費が11.4%、道路や下水道など社会資本を整備するための投資的経費が14.0%、町の借金を返済するための公債費が12.8%、その他の経費が21.3%となっています。

一番多くを占めているのが、国民健康保険や老人医療などの医療費や介護保険、児童手当などの社会保障制度に要する扶助費で、40.5%、118億4,777万4千円となっています。

合併して2年目を迎え、周防大島町の礎を構築する予算と位置付けられた平成18年度予算のうち、一般会計の歳入の約50%を占める地方交付税は、合併前の平成15年度の

旧4町の合計と比べ約10億円もの減額見込みとの報告が執行部からありました。

その大きな要因は、三位一体の改革による交付税改革と国勢調査に基づく人口の減少によるものです。

また、町の貯金である基金を約5億円取り崩しての予算編成で、取り崩し可能な基金の残高は約9億円となっています。

昨年12月に策定された周防大島町の総合計画に基づき、平成27年度までの財政計画も示されましたが、このままの状態では、平成20年度には基金も底をつくこととなります。

このように周防大島町の財政環境は非常に厳しい状況にあります。議会も執行部と一体となり、町民の皆さんの理解と協力を得ながら、歳出の徹底した見直しと歳入の確保を図っていきます。